

令和5年度第4回芽室町総合計画審議会評価専門部会（Bグループ） 議事録

令和5年8月21日（月）18:30～20:15

芽室町役場 地下会議室5・6

■出席委員（10名）

遠藤委員、木原委員、桜井委員、櫻田委員、佐藤委員、珠玖委員、須崎委員、高橋（広）委員、堀越委員、山田委員

■欠席委員（1名）

高橋（圭）委員

■事務局

村上政策推進課政策調整係長、佐藤

■説明員

石田政策推進課長、松田住民税務課長、藤野農業委員会事務局長、剣持農林課長補佐兼農業振興係長、高瀬農林環境係長、速水畜産振興係長、佐々木土地改良係長

■1 開会及び挨拶

事務局

定刻となりましたので、只今から、令和5年度第4回総合計画審議会評価専門部会を開会します。欠席の御連絡を、高橋（圭）委員からいただいております。

グループ長

お忙しいところ第4回専門部会にお集まりいただきありがとうございます。初めての進行で不慣れな点もあるかと思うが、よろしく願います。本日は5つの施策の評価を行う。

■2（1）調査事項 2023年度施策マネジメントシートについて<資料1>

◎5-2-2 健全な財政運営

事務局

施策の目指す結果、担当課評価、経営戦略会議評価について説明。

グループ長

事前質問を2ついただいている。担当課からの回答をお願いしたい。

石田政策推進課長

事前質問①の回答

将来負担比率が100%を超えることはありえる。将来負担比率100%とは、町の財政規模の1年分が借金ということである。比率が高い他市町村の例でいえば、夕張市は274%であり、2.7年分の借金があるということになる。

事前質問②の回答

経常収支比率は3～5年ほどは上がることになると思う。庁舎建設や農村部光ファイバー、学校のエアコン整備など借金の負担がある。

委員

3～5年ほどとは、斎場等の大規模修繕や車両センターの移転を含めた展望なのか。

石田政策推進課長

含めていない。斎場等の大規模修繕は補助金がないと厳しい。国と協議して補助金を探している状況。車両センターは住宅地として売れば財源になる。

委員

成果指標①と②は他町村と比較するとどうなのか。

石田政策推進課長

管内自治体でいうと真ん中より少し良いくらい。将来負担比率は真ん中より少し下。庁舎建設では30億円ほどかかっているため借金は多い。今後、他町村でも庁舎建設があり、借金は増えていくと思う。

委員

税の徴収はできているが、財政状況が良くない理由はなぜか。

石田政策推進課長

前述の庁舎建設や農村部光ファイバー、学校のエアコン整備などの影響である。税の徴収率は、住民税務課長から説明する。

松田住民税務課長

税徴収率は99.2%。管内でも上位である。

委員

将来負担比率は町税やふるさと納税など収入が上がれば、下がっていくものなのか。

石田政策推進課長

単年度では影響がないが、町の財政に寄与していくことは間違いない。

グループ長

評価にあたり、意見をいただきたい。

【意見なし】

D評価でよろしいか。

【異議なし】

評価：Dランク

グループ長

この施策について、今後の取組に対する意見等はあるか。

委員

ふるさと納税は町の財源に貢献する。今後とも進めてください。

(他意見なし)

◎ 1-1-1 担い手育成と農業の応援団づくり

事務局

施策の目指す結果、担当課評価、経営戦略会議評価について説明。

グループ長

事前質問を2ついただいている。担当課からの回答をお願いしたい。

剣持農林課長補佐兼農業振興係長

事前質問①の回答

平成20年の農家戸数は670戸、耕作面積は30ヘクタール。令和4年の農家戸数は577戸、耕作面積は35ヘクタール。戸数は93戸減少しているが、耕作面積は5ヘクタール増えている。

事前質問②の回答

GPSを活用したトラクターの自動操縦やドローン、肥料をまく技術などが導入されている。馬鈴薯の収穫は(導入前)18戸56ヘクタールから令和4年度では50戸222ヘクタールまで増加している。

委員

新規就農者数の拡大について、新規の働きかけはどのような取組をしているのか。

剣持農林課長補佐兼農業振興係長

町からの働きかけはしていないが、流れとしては都市部から農業体験の申し出があれば農業実習を行い、農家になる形にしていきたい。農業再生協議会という組織に農業実習や花嫁候補の受け皿として担い手部会を設置した。

委員

新規就農者数は子どもが後継者として就農した場合、カウントの基準はあるのか。また、どのように把握しているのか。

剣持農林課長補佐兼農業振興係長

農協に新規就農を届け出た場合、新規就農となる。

委員

結婚相談について、実績は把握しているか。

藤野農業委員会事務局長

農業後継者対策委員会を設置しており、交流会等を行っている。直接結びつくケースは少ないが結婚件数は5年間で34組。1年で5～7組が結婚している。農家の独身で20～50代以下が130名ほどいる。

委員

花嫁だけではなく、花婿も探しているのか。

藤野農業委員会事務局長

申し出があれば検討するが、現在は花嫁募集として活動している。

委員

経営規模の拡大について、1戸1法人が多いと思うが、家族以外の農業法人はあるのか。

剣持農林課長補佐兼農業振興係長

雄馬別地区で4戸の200ヘクタールを法人経営している。

委員

町として大規模化のために1戸1法人に限らず、複数の法人を誘導していく施策はあるのか。

剣持農林課長補佐兼農業振興係長

誘導施策はないが、人手はそのままである場合に経営規模を拡大すると、労働力不足の影響がある。農業の担い手の社会保障の面も課題となる。

委員

農業の応援団とは何を指しているのか。

剣持農林課長補佐兼農業振興係長

芽室町の農産物を買っていただく方や、町内でも農業に携わっていない子どももいるため、芽室で生まれ育った子どもたちが大人になっても芽室の野菜を買ってくれるようなことも含めている。

委員

食農教育ということなのか。応援という言葉がピンとこない。

剣持農林課長補佐兼農業振興係長

幅広く捉えている。食農教育にも関連する。

委員

自主的活動支援事業補助金は、どのように成果に繋がっているのか。

剣持農林課長補佐兼農業振興係長

研修コースを設定し、補助対象経費を決めて募集している。農業後継者を中心とした若い人が応募して研修を受けて研鑽を積むこととしている。

グループ長

評価にあたり、意見をいただきたい。

委員

B評価はいかがか。このあとの施策評価はB評価であるが、その評価からみるとこの施策もBでよいと思う。成果指標②も97%と高い。労働力はスマート農業など対策を練っている。

委員

(農協から団体推薦されている) 委員はどのように思うか。

委員

農協と役場で協議して取組を進めている。目標の数字が限界まできており、伸び悩むところもあるが、この指標はクリアしていると思う。芽室町の不耕作地もほぼなく、心配なく進んでいるため、B評価でも良いと思う。

委員

それであればB評価で良いのではないか。

(異議なし)

評価：Bランク

グループ長

この施策について、今後の取組に対する意見等はあるか。

(なし)

5に記載のとおり進めてください。でよろしいか。

(異議なし)

◎ 1-1-2 農業生産性の向上と経営基盤支援

事務局

施策の目指す結果、担当課評価、経営戦略会議評価について説明。

グループ長

評価にあたり、この施策について、質問等はあるか。

委員

農業算出額の内訳は把握しているか。

剣持農林課長補佐兼農業振興係長

2022年度実績において、畑235億円、畜産98億円である。

委員

農業産出額は2021年度から総額表示となった。総額表示は純額表示より30～40億円ほど落ちる額となる。総額表示と純額表示の数値が入り乱れており、過年度と比較するのであれば補足を入れてほしい。目標値の314億円は純額表示のもの。

剣持農林課長補佐兼農業振興係長

総額表示と純額表示の違いについて、純額は生産者の売上金額であり、総額は農業販売手数料を含めて表しているもの。令和4年度の総額333億円は、純額で令和2年度の

297億円程度となる。

委員

表示方法が入り乱れていると判断しづらい。評価していく場合は統一してほしい。

事務局

役場内部の経営戦略会議においても議論となったが、取組内容も含めて総合的にBランクと評価した経過がある。

委員

総額表示の333億円から仮に40億円引いたとしても293億円。計画策定時270億円と比較すると、向上している。

委員

農業振興センターはどのように運営しているのか。

剣持農林課長補佐兼農業振興係長

農協職員を配置している。運営費は町と農協で半分ずつ負担している。

委員

取組を行った農家さんの満足度を成果指標としても良いのではないかと。経費なども高騰していることから、総額の農業生産額だけでみるのは難しいと思う。

委員

天候によって畑作共済で補っているのであれば、その数字でも図れるのではないかと。

委員

税金の関係で償却資産税など優遇措置があると思う。また、営農指導経営分析は町が行っているのか。

剣持農林課長補佐兼農業振興係長

税の申告は税理士等に相談いただいている。営農指導経営分析は農業振興センターで行っている。

グループ長

評価にあたり、意見をいただきたい。

委員

B評価で良いと思う。

(異議なし)

評価：Bランク

グループ長

この施策について、今後の取組に対する意見等はあるか。

委員

資材高騰の対策は重要。経費削減できるような対策を練ってほしい。

◎ 1-1-3 農地・土地改良施設等の整備・充実

事務局

施策の目指す結果、担当課評価、経営戦略会議評価について説明。

グループ長

評価にあたり、この施策について、質問等はあるか。

委員

施策マネジメントシートの成果指標の欄で誤字がある。

事務局

修正させていただく。

委員

整備は農業者の希望に沿って進められているのか。

剣持農林課長補佐兼農業振興係長

国や道の予算もあるため必ず希望通りとならないかもしれないが、土地改良事業は農地の改良であるため、希望するところは進めていきたい。

佐々木土地改良係長

中長期計画を定めており、町内を巡回する形で進めている。1巡目は終わっており、現在は2巡目が終わるところまできている。

委員

土地改良区について、芽室にも事務所があるのか。

佐々木土地改良係長

土地改良区について昔はあったと聞いている。現在は芽室町には存在せず、町で実施している。

グループ長

評価にあたり、意見をいただきたい。

委員

B評価で良いと思う。

(異議なし)

評価：Bランク

グループ長

この施策について、今後の取組に対する意見等はあるか。

委員

土地改良事業について、受益者の要望実現に向けて取組を進めてください。

◎ 1-1-4 地域林業の推進

事務局

施策の目指す結果、担当課評価、経営戦略会議評価について説明。

グループ長

評価にあたり、この施策について、質問等はあるか。

委員

成果指標③は目標値を超えているが、資料1の8ページ4には「～私有林の適正管理が進まない状況もある。」とある。ということなのか。

高瀬農林環境係長

成果指標③95%は林野台帳で所有者や植栽の時期が把握されているもの。適正にというよりも状況把握ができているものをカウントしている。

委員

植栽してから伐採するまで管理されている面積ということか。

高瀬農林環境係長

私有林は所有者の思いもあり、完全に適正かどうかまではわからない。色々な事業により植栽について自己負担がないように取り組んでいる。また、町有林は計画どおりに進めている。

委員

私有林の面積は具体的にどのくらいあるのか。

高瀬農林環境係長

令和3年度末は5,319ヘクタール。

委員

森林環境譲与税は具体的にどういうものが活用対象となるのか。

高瀬農林環境係長

実態は木材利用等、木とつけばなんでも利用できる。私有林の整備など個人の負担は事業費の6%ほどあるが、自己負担をなくすようにしている。また、林道整備、木製遊具やベンチ、学校の子どものロッカー、建築資材も対象となる。

グループ長

評価にあたり、意見をいただきたい。

委員

成果指標①の目標値90%は高いと思う。一般的にアンケートの結果は2/3まで行けば良いと思う。88%は非常に高い。また、私有林も約5,300ヘクタールある中で95%も把握している。この施策もB評価で良いと思う。

委員

これ以上成果指標を上げることは難しいと思う。B評価で良いと思う。

(異議なし)

評価：Bランク

グループ長

この施策について、今後の取組に対する意見等はあるか。

委員

森林環境譲与税の使い道を公表のうえ、活用を進めてほしい。町民が制度理解することで成果指標①も向上していくのではないかと思う。

■ 3 その他

グループ長

以上で本日の調査事項が全て終了した。今後のスケジュールについて、事務局より説明をお願いします。

事務局

次回の専門部会の日程、委員報酬、事後アンケートについて説明。

グループ長

今の説明に関して何か質問や意見はあるか。

(質問なし)

■ 4 閉会

それでは、これで本日の専門部会を終了する。

20:15